

目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.1 2003年10月6日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校(東横線祐天寺駅、JR 目黒駅下車)
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りのご支援をいただき、ありがとうございます。

「もっと聖契神学校のことを、多くの方々に知っていただきたい」との願いから、年数回の正式な(?)「聖契神学校ニュース」とは別に、ニュースレター「目黒の学び舎から」を、不定期ですが発行することにしました。神学校に住み込んでいる立場から、あまり肩のこらない神学校の話題を皆さんにお届けできれば、と思います。ぜひ続けてお読みください。

聖契神学校が、もっともっと皆さんの身近な、親しみやすい場所となることを願いつつ。

「... 私のためにも祈ってください。」(エペソ6:19)

在

校長 関野祐二

● いよいよ後期授業開始

聖契神学校は前後期二期制です。一週間の学期休みはあっという間に過ぎ去り、10月6日(月)から後期授業が始まります。前期に比べ、後期は学生の皆さんの履修単位がかなり多いようです。卒業予定(見込み?)の方々にとっては、まさしくラストスパートですね。

さて、後期から新任の教師が登場します。いずれも専門科の「説教B」「敬虔主義と自由福音教会運動」を担当する、ジム・ピーターソン師です。詳しいご紹介は次号の聖契神学校ニュースにまわすとして、ジム先生はかつてこの聖契神学校校長をされていたレオナルド・ピーターソン師のご子息。なんと10年以上もこの神学校内に住んでいたのです。カンペキなバイリンガルで、説教者以上の名通訳をすることでは有名です。専門に学ばれた最新の説教と、スウェーデン移民の子孫として肌身についた敬虔主義のクラスに期待が高まります。

● 遠ざかる火星

8月27日に大接近した火星も、ずいぶん遠ざかりました。9月9日(火)快晴の夜、宣教学の小川国光先生と、たまたまこの夜教会史の補講をする丸山悟司先生を誘惑し、チャペル後の休み時間に屋上へお招きしました。なんと、中秋の名月二日前の月に寄り添うように、火星が輝いているではありませんか。聞きつけた学生たちが皆上がってきて、大観望会になってしまいました。大型の双眼鏡で月と火星のランデブーを、望遠鏡で火星の模様を皆さんにお見せしましたが、「すばらしい主のみわざですね」とは、いかにも小川先生らしいコメント。「この望遠鏡、いくらしたんですか」とは、とある学生からの質問でした。みな中古だから安いですよと答えました。こんなに広くて見晴らしの良い屋上が与えられているのは感謝です。むずかしい神学の学びも、天地創造のみわざ体験で血のかよったものになるかな、とは私の自己満足。

クラスが終わって皆さんが家路につく頃、玄関の施錠をしながら夜空を見上げたら、すでに火星が月から少し離れていました。今夜の講義は忘れても、火星と月の光景は忘れないでしょうね。

● 献身者の集い・公開授業・オープンキャンパスへどうぞ

恒例の、「献身者の集い」が近づいてきました。学生会は、主催を任せている昼食会の準備に余念がないようです。讚美や証しなど、楽しく心に響く企画がなされていることでしょう。3年前でしたか、来校者と食事を共にしていたとき、向かいのY兄から「今、何年生ですか」と聞かれて答えに窮したことを思い出します。よほどカンロクのない教師だった（今も？）のでしょうか。今、クラスでY兄によくあててるのは、決してこの時のうらみではありません。

午前のチャペルは、2000年3月に卒業し、すぐ近くの日黒カベナント教会で牧師をされている坂本公明師をお招きします。在学中さまざまな逸話を残し、私も新約通論のクイズで、なぜか母音のないヘブル語に悩まされました。伝道がなによりも好きという坂本先生が、献身者を励ますメッセージを取り次いでくださるでしょう。また、公開授業では新約緒論と別に、勝本正實先生による「比較宗教特別講義 ～占い好きな日本人～」があります。「クラスでは話さないことをやります」とのことですので、来校される方はもちろん、在校生もたくさん参加してください。昼食後の講演会は、旧約聖書やキリスト教倫理担当の小山田格先生が、「すばらしい献身者の生活」（ローマ12：1-2）と題してお話しくたさいます。とかくたいへんな働きと言われる牧師や主の働き人ですが、私もぜひ心して聞きたい講演です。

日頃は立ち入れない（立ち入りたくない！？）男子寮・女子寮も、この日はオープンになります。掃除の行き届いたモデルルームが公開されるそうです。楽しい寮生活を思い描いてください。皆さんのおいでを心よりお待ちしております。

● 注解書類の購入

ここ数年来、米国において福音的なすぐれた注解書類が数多く出版されています。私の担当する新約通論・緒論、神学英语、聖書解釈学など、いずれも最新の注解書がどうしても必要なクラスです。レポートを書く際、新約各書の釈義や解釈に欠かせないからです。現在は個人所有のものを運んで使ってもらっていますが、本来は神学校として図書室に備えるべき専門書ばかり。ぜひまとまった数を買いたいと考えています。「英語の注解書って、こんなにも優れているんですか」との驚きと喜びの声（うめきの声も）を何度も聞くにつれ、早くなんとかしなければと思います。

ぜひお祈りのうちに覚えていただければ幸いです。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 10月6日（月）から始まった後期授業を担当する各教師の働きと、学ぶ神学生のため。特に新任のジム・ピーターソン師の働きと、復学する万完植（バツツツ）兄の学びのため。
- ・ 10月18日（土）献身者の集い・公開授業・オープンキャンパスに、多くの来校者が集い、聖契神学校が広く知られ、来年度入学希望者が多く与えられるように。学生会による準備のため。
- ・ 神学校運営委員と理事の働きのため。次の運営委員会は12月1日（月）、理事会は来年1月13日（水）。神学校運営が神学教育の面でも経済面でも支えられるように。